

年 組 番  
(名前)

## <新聞記事から考えよう> 181021



「きょうの言葉」より

「知らない」と言えますか

**きょうの言葉**

何人かで映画の話をしている。自分以外の誰もがその映画を見たことがあるようだ。自分も名前くらいは知っている。仕方なく、ただあやふやにうなずきながら理解できない話を聞いている。

その後、グループは散会した。一人になつてどつと疲れが出た。

有名な思想家、有名な美術作品、小説、有名であるらしいお笑い芸人、有名であるらしいアニメの主人公、まるで誰もが知っているかのように話されるさまさまのこと。

それを知らないと言えない。知識や教養がないと思われたくない。堅物だと思われたくない。同じ

価値観を共有していると思ってもらいたい。

知らない仲間外れになつてしまふような気がする、なんともいえない空気が。

思い起せば、小さいとき、若いときほどそんな気持ちが強かった。成長するにしたがつて、興味を持つ対象は、人それぞれに分化していく。入ってくる知識、語られる言葉も変わってくる。知れば知るほど、知らないことの方が多いと知るようになる。

たいていのことは知らなくて当たり前なのだ。

モーム(1874~1950)はイギリスの小説家、劇作家。  
(小説家・阿川大樹)

年を取るまで「知らない」と言うことがそんなに簡単なことに気づけなかった

サマセット・モーム

○ 音読しよう

○ 意見を出し合おう。

1 あなたは、このようにあやふやにうなずきながら会話を聞いたことがありますか。 <ある ・ ない>

2 それはどんな話題でしたか。

3 あなたは、なぜ「知らない」と言えなかったのでしょうか。

・知らないと笑われる、ばかにされる      ・場がシラケてしまう      ・仲間じゃないように思われてしまう

・その他

4 会話が終わった後、どんな気持ちでしたか。

5 他の人がもし「知らない」と言ったら、あなたはどのような態度や言動をするでしょうか。

6 「たいていのことは知らなくて当たり前」ということに対してどう思いますか。

7 会話の中で気をつけておきたいことはどんなことだと思いますか。